（お　知　ら　せ）

平 成 ２０ 年 ６ 月 ６ 日
日本原子力発電株式会社

東海・東海第二発電所の近況について（平成20年6月）

1．発電所状況について （6月6日現在）

東海第二発電所 沸騰水型 （定格電気出力110万 kW）	・第 23 回定期検査を 3 月 18 日から実施中。
東海発電所 炭酸ガス冷却型 （廃止措置作業中）	・熱交換器等解体撤去工事の内、1 号及び 2 号熱交換器周辺機器の撤去工事を実施中。 ・燃料取扱建屋領域に設置された機器の撤去工事を実施中。燃料取替機等の撤去工事を実施中。

●東海第二発電所の定期検査状況

（1）主要設備の実績

①原子炉関連設備

炉内点検を終えたことから、全燃料集合体７６４体のうち１５６体を新燃料に取替え装荷を完了しました。今後は、原子炉の復旧作業を実施します。

また、主要工事の一つである非常用炉心冷却系統ストレーナの改造工事に着手し、大型化したストレーナへの取替を実施中です。

非常用炉心冷却系統ストレーナ（6月3日撮影）

②タービン関連設備

低圧タービン（Ａ）及び（Ｃ）の車室開放点検が終了し、タービン羽根については、固定翼の一部を計画的に取替えました。また、主要工事の一つである排ガス予熱器取替については、新予熱器の設置が完了し、現在は配管の繋ぎ込みを実施しています。

（定期検査の工程表は別添資料1　参照）

URL：http://www.japc.co.jp/tokai/teiken/tokai2/23/index.html

（2）その他定期検査中に発生した事象

・残留熱除去系*熱交換器海水出口流量制御弁の作動不調について

4月23日、残留熱除去系海水系（A）の試運転を行っていたところ、海水流量が定格流量に到達しないことを確認しました。当該海水系熱交換器出口流量制御弁を点検したところ、弁棒の中間部が折損し弁体と弁棒が分離していることが分かりました。

残留熱除去系海水系（B）の点検を行うため、当該（A）の弁棒を同一仕様品に取替えて一時的に復旧するとともに、弁棒が折損した原因について調査を行っており、その結果に応じた再発防止対策並びに水平展開を実施します。

＊　残留熱除去系：原子炉停止後の燃料の崩壊熱を除去するための系統。3系統（A，B、C）あり、（A）（B）が海水系を持つ。定検中は原子炉停止時冷却系として燃料プールの冷却を行っている。
その他、非常時の原子炉への注水や圧力抑制室プール水の冷却も行う。

（5月9日お知らせ済み）

弁棒折損の原因は、当該弁の運用時の開度により、弁内でキャビテーション（気泡の発生消滅）の発生による振動と、弁箱のガイド（弁体の振動を抑える板）の磨耗による振動の拡大によって、弁棒に過大な応力が集中したことによりき裂が発生・進展し、最終的に折損したものと推定しました。

対策として、当該弁の開度をキャビテーションが発生しない開度への変更、及びガイドの肉盛補修により適切な隙間を確保し、振動を防ぎます。又、弁棒の材質を変更し強度の向上をはかるとともに、弁体についても新品に取替えます。

また、水平展開として、B系弁については今定期検査において分解点検を実施し、ガイドと弁体の隙間を確認するとともに、A系弁と同様に弁棒材質および開度の変更を行います。

＊　残留熱除去系海水ポンプ：3系統ある残留熱除去系のうち、（A）（B）については海水ポンプが各々2台づつ設置されており、海水系の起動・停止時にはポンプ1台を運転する。

（別添資料２　参照）

2.　プレス及びホームページ掲載実績について（5月10日～6月6日）

（1）法律に基づく報告に該当する重要な事象　　な　し

（2）その他の情報

①プレス発表　　3　件

・5月16日（金）

「平成20年度東海発電所・東海第二発電所の事業計画概要について」

・5月20日（火）

「発電設備の点検結果に係る再発防止対策　新行動計画の検証結果について」

・5月27日（火）

「東海発電所『クリアランス制度』対象物に係る放射能濃度の確認証の受領について」

②お知らせプレス　　1　件

・6月　6日（金）

「東海・東海第二発電所の近況について」

③取材案内　　1　件

・5月26日（月）

「東海第二発電所　第23回定期検査状況の取材案内について」

6月3日に東海第二発電所の定期検査状況をプレス関係者に公開しました。

3．その他

（1）保安検査対応状況

・5月12日～5月19日において東海発電所の平成20年度第1回保安検査が実施されました。なお、東海第二発電所の保安検査は6月2日より実施しています。

（2）耐震関係

・海上音波探査調査を本年9月頃まで実施する計画です。

・「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」の改訂を契機に、自主的な取り組みとして非常用ガス処理系配管の耐震裕度向上工事に関し、配管の別ルートへの据付工事を実施しました。

（3）東海発電所クリアランス制度対象物

・クリアランス制度対象物の再生加工品であるブロックやベンチ・応接テーブルについては、既に東海テラパーク等にて展示していますが、新たに600個の再生ブロックを東海テラパーク玄関前に敷設しました。

URL：www.japc.co.jp/haishi/re_output.html

4．イベント情報

・今月はありません。

以 上

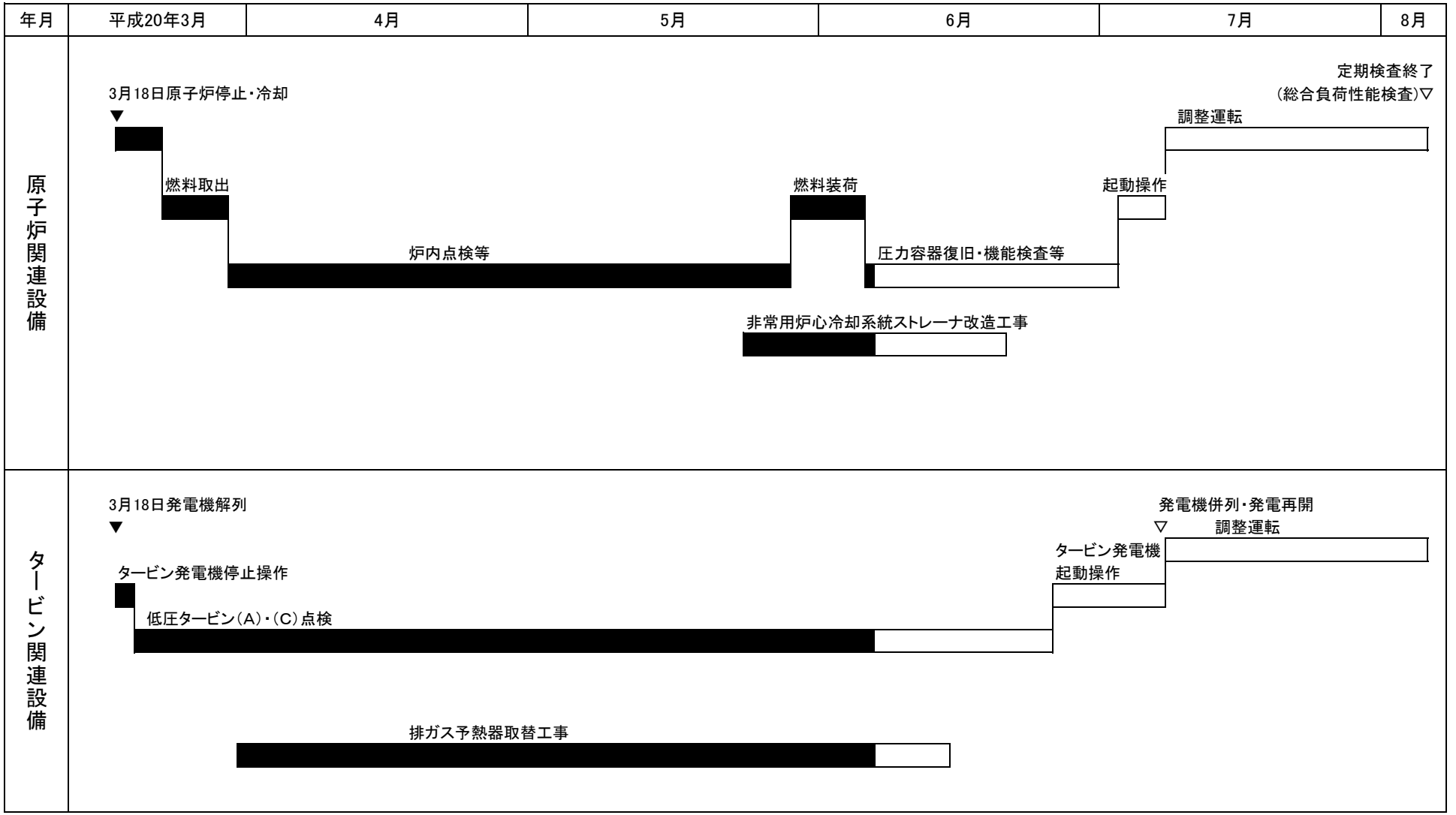
＜添付資料＞

1．東海第二発電所　第23回定期検査　工程表

2．残留熱除去系A系熱交換器海水出口流量調整弁分解点検状況

東海第二発電所　第23回定期検査　工程表

平成20年6月6日現在

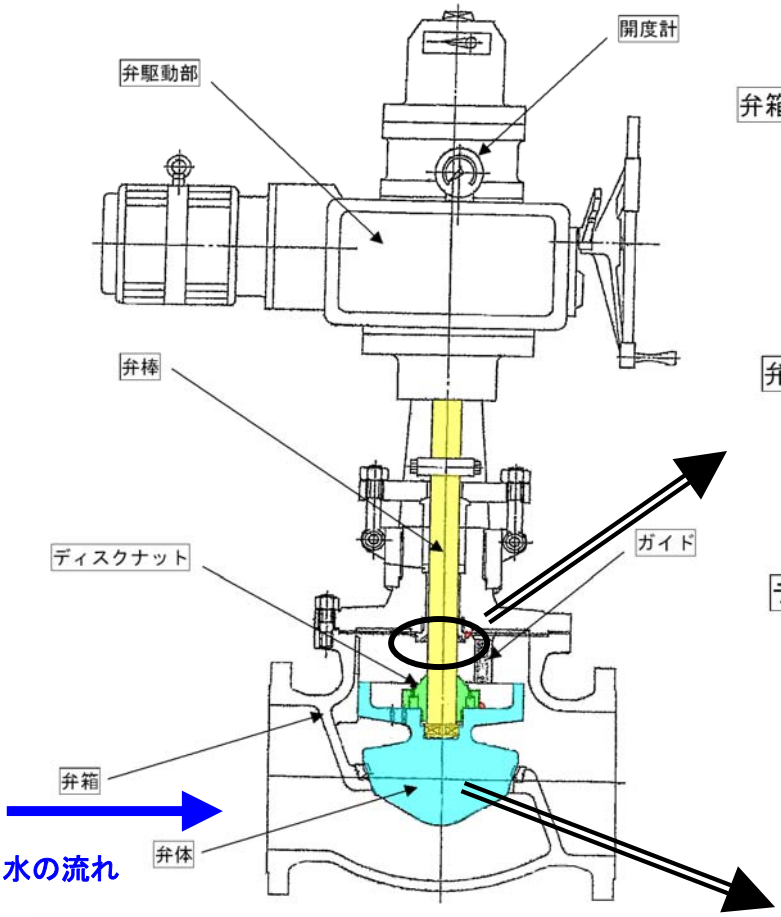


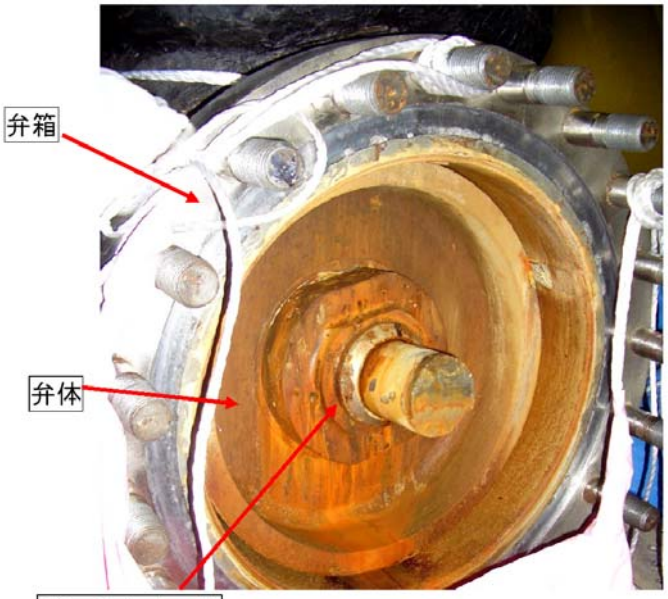
添付資料1

添付資料２

残留熱除去系Ａ系熱交換器海水出口流量調整弁分解点検状況

海水出口流量調整弁





弁棒折損状況

仕様
・弁棒：外形　72 ㎜　　長さ：1350 ㎜
　　材質　SUS431（ステンレス鋼）
・弁体：直径　362 ㎜
　　材質　SCS14（ステンレス鋼鋳造品）

弁体